



西徳寺だより

5月号

Vol. 154

「愚者になりて往生す」

浄土真宗本願寺派勧学

深川宣暢

世の中には賢者と愚者とがあるようだが、本物の賢者は自分が「賢い」と思っていない。自分が知り得たことは、ホンの毛の先ほどのことであって、もっともつとわかっていないことを知りたいと愚者の立場にいる。結果、いよいよ成長し、賢くなってゆく。

愚者は愚者で、自分はずもとも何も知らないけれど、世の中にはちゃんと教えてくれる人があると、その話を素直に聞き、またそれを感謝しつつ成長してゆく。

始末が悪いのが「自分は賢い」と思っている人々である。

自分は賢いだから「俺の言うことに何の間違いがある」と人の話を聞かない。結果、成長もなく感謝の念おもいを抱くこともない。

しかし、仏の智慧からもってすれば、みな「愚者」なのである。仏の智慧からする言葉を、ただ「愚者になりて」素純そじゆんに聞いて「往生」し、仏に成長してゆくのである。

三十年ほど前、本紙(『本願寺新報』)の「リビング法話」に書いたことがある。元検事総長であったI氏が、自身ががんになって書いた『人は死ねばゴミになるー私のがんとの闘い』という書が出た



令和六(二〇二四)年五月発行 編集発行 篠田 尊徳
〒八二二〇〇三四 福岡県直方市山部五四〇
浄土真宗本願寺派 覺音山 西徳寺
TEL 〇九四九二二〇六三六 HP <https://saitokujj-net>
FAX 〇九四九二二〇六六七 MAIL saitoku@oce.ocn.ne.jp



後のことである。その中に記される。

「僕の家も多くの日本の家と同じように檀那だんな寺を持つてはいる。しかし、仏教という宗教を信じているわけではない…四十年も、冷静、客観的に証拠を科学的に追い求め、…仕事を続けてきたせいで、僕らの頭は、生命科学などといった分野のことは暗いながら、科学的、合理的な思考の方が受け入れやすくなっている」と。そして「僕は、人は、死んだ瞬間、ただの物質、つまりホコリと同じようなものになってしまうのだと思う。…死んでしまったら、当人は、全くのゴミみたいなものと化して、意識のようなものは残らないだろうよ」と。

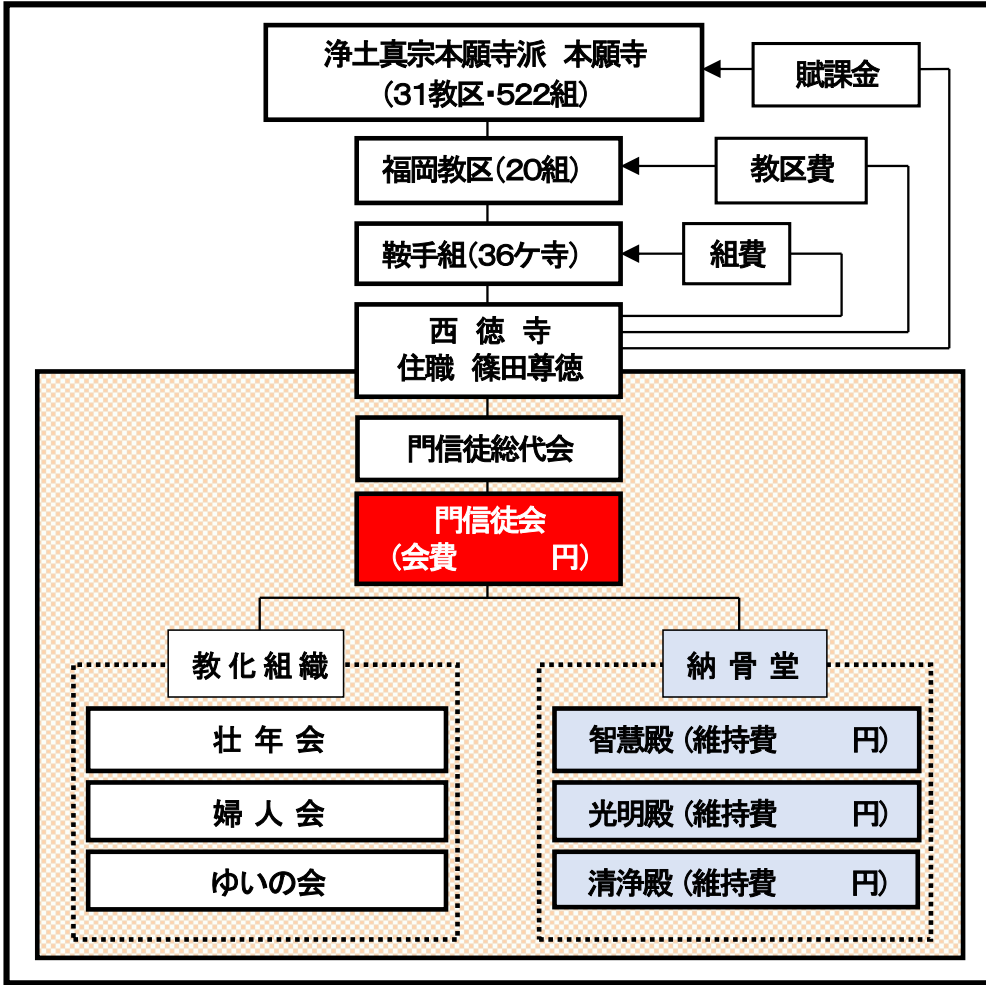
その「僕の頭」を根本から否定的に超えていく仏の世界があるのに。この人も「自分は賢い」と生きてきた人なのであろう。昭和六十三年五月、I氏は「ゴミになった」。

同じ年の九月。若くしてがんになり、一年余り病と過ごこしたご門徒のO氏が五十四歳で今生を閉じた。仏に成る道を聞く家庭の若主人であった。「先にお浄土に参らせてもらおう」と年老いた母に言い置いて、O氏は「仏に成った」。

(『本願寺新報』いのちの栞より転載)

門信徒会費納入のお願い

西徳寺門信徒の皆様にお願ひしております「門信徒会費」、この度その「二〇二三(令和五)年度決算」が四月二十五日の門信徒総代会で承認されましたので、ご報告させて頂きます(別紙参照)。引き続き、二〇二四(令和六)年度分の振込用紙(郵便局用)を同封しておりますので、今年度分 **円**の納入をお願い致します。



尚、西徳寺のご門徒になられて間もない方もいらっしゃるし、「門信徒会費」と「納骨堂の維持費」との違いについて、時々問い合わせもありますので、改めてそれぞれの会費について説明させていただきます。

◇「門信徒会費」は西徳寺そのものの護持・管理に充てる費用(本願寺派への「賦課金」、福岡教区への「教区費」、鞍手組への「組費」と西徳寺の火災保険を主な支出としています。)で、全ご門徒に対して**年間 円**をお願いしております。毎年『西徳寺だより』五月号に、前年度分の決算報告書と、当年度分の振込用紙(郵便局用の赤い用紙)を同封して送らせていただいています。

◇「納骨堂の維持費」は各納骨堂の維持管理に充てる費用で、各納骨堂に加入されている方のみに対して**年間 円**をお願いしています。こちらは先日、各納骨堂加入者にお送りした追悼法要案内にて納入のお願いをしており、郵便局用の青い振込用紙を同封してお送りしております。

上の図にあるように「門信徒会費」と「納骨堂の維持費」はそれぞれ別組織の管理となり、総会日程の関係上、**納入お願いの時期が半月程度ずれます**ことをご容赦下さい。出費多端の折、誠に恐縮ですが、ご理解の上、ご協力をお願い致します。

親鸞聖人御誕生八百五十年
立教開宗八百周年 慶讃法要 並びに

永代経法要のご案内

「永代経法要」とは、今までに亡くなられた全ての人々
をご縁として、今を生きる私たちが、永代に
わたって阿弥陀様のみ教えを聴聞し、受け伝えて
いくために開かれる、私たちのための法要です。

去年は親鸞聖人御誕生八百五十年、今年も立教開宗

(浄土真宗の開宗)八百年の節目の年ですので、初日の九日

はその慶讃法要としてお勤めさせていただきます。

日時 五月 九日(木) 昼座

十日(金) 朝座・昼食・昼座

十一日(土) 朝座・昼食・昼座

※朝座 午前十時 より 正午まで

※昼座 午後一時三十分より 三時三十分まで

講師 広島市佐伯区 最広寺 中村 英龍師



西徳寺三納骨堂 加入者追悼法要のお知らせ

西徳寺納骨堂加入者追悼法要を左記の日程で開催いたします。

・清浄殿追悼法要 五月十四日(火) 十時より

・光明殿追悼法要 五月十五日(水) 十時より

・智慧殿追悼法要 五月十六日(木) 十時より

加入者の皆さま、どうぞお参り下さい。



「西徳寺寄席」のご案内

今年も上方落語家 三代目 林家 菊丸師匠
をお招きして「西徳寺寄席」を開催します。

本堂が笑い声で満たされることを楽しみにしております。

・六月十四日(金) 開場 十三時

開演 十三時三十分

休憩を挟んで十五時まで二席

※木戸銭(入場料) 無料

※申込みの必要はありません。どなたでもどうぞ。



「第十三回子ども夏祭り」のご案内

今年も本堂でお参り、仏さまのお話の後、**テバッタさんによるマジックショーを行います。**恒例の「スイカ割り」とおいしいお弁当も用意しています。かわいい子どもたちにもたちに会えるのが楽しみです。

○日時 七月十五日(海の日) 午前十時〜午後十二時三十分

○参加対象 保育園児・幼稚園児・小学生

○参加費 一人五百円(当日持参下さい。)

○申込方法 西徳寺までお電話下さい。

(TEL 〇九四九一二二一〇六三六)

○申込締切 七月十日(水)

※「お念珠」・「お経本」はお寺にて用意します。



西徳寺総代会役員交代のお知らせ

四月二十五日の西徳寺総代会定期総会の場で、新しい責任総代さんが発表されましたので、ここにご紹介させていただきます。

- ・門信徒総代会 会長 能間瀧次さん
 - ・門信徒総代会副会長 長谷川房生さん
 - ・門信徒総代会会計・庶務 伊藤紀代子さん
 - ・門信徒総代会相談役 長谷川みな子さん
 - ・門信徒総代会監事 栗原みどりさん
- 長きにわたり責任総代をお勤め下さった森拓二さん、林英彦さん、茂浦口淳治さんに深く感謝の意を表するとともに、新しい責任総代さんたちへのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



今年のお盆参りについて～昨年と同様の形式です～

- ①直方市内・市外共に戸別のお盆参りはせず、本堂で合同のお盆参りを基本とさせていただきます。
- ②ただし、どうしてもご自宅での参りを希望される方は、ご連絡頂けましたら七月下旬から八月九日までの間で調整してお宅に伺います。(ご連絡は七月十日までお願いいたします。)
- ③初盆のお宅は、例年通り(市外)八月十日～十二日、(市内)八月十三日～十五日の間に一軒ずつお参りさせていただきます。初盆参りの日時は七月二十日以降にお問い合わせ下さい。
- ④八月十日～二十日まで、月忌参りはお休みさせていただきます。

絵手紙教室のご案内

「ヘタでいい、ヘタがいい」が合言葉。皆さんのご参加をお待ちしております。

- ・講師 直方市感田 油布 紀美子先生
- ・場所 西徳寺門信徒会館
- ・会費 五〇〇円を参加した時だけ
- ・第二百六六回 五月二十四日(金)
- ・第二百六七回 六月二十八日(金)
- ・第二百六八回 七月二十六日(金)

午後一時三〇分より
三時三〇分まで



おわりに

西徳寺十四世住職 篠田龍雄師は長年「教誨師」を務めた。ある方から死刑囚と話し合う時の留意点を尋ねられ「それは空です。」と答えている。仏教の難解な「空」思想の事かと思っ読み進めると、そうではなくて単なる「空間」の事と分かった。つまりは死刑囚と接していて一番大切なことは、「空間作り」＝「環境作り」と考えていたようである。最近よく使われる言葉で言えば「居場所」だろうか。死刑囚に限らず十四世にとってお念仏に出遇うとは「居場所」に遇うことだったのである。今号にもたくさんの方の行内をさせていた。そこにある願いは十四世の時から変わらず、ご門徒の皆さんが「お念仏に出遇い」、西徳寺を安心できる「居場所」にして下さることである(院)